

彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和 7 年 6 月 26 日(木)			
会議場所	彦根市役所本庁舎 5-1 会議室、5-2 会議室			
出席委員等 5 人中 5 人出席	教育長 教育長職務代理者 委 員	西嶋 良年 永濱 隆 本田 啓子	委 員 委 員	小松 照明 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部長 小島 久喜 教育部次長(教育総務課長) 清水 智子 こども家庭部次長(幼児課長) 植田 勝彦 副参事(図書館長、新図書館整備推進室長) 久保田 雄介 副参事(博物館管理課長) 都築 養子 博物館学芸史料課主幹 高木 文恵 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 小坂 英司 学校 ICT 推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 西川 真由美 生涯学習課主幹 川添 義夫 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 広野教育集会所長 中江 淳展			
会議次第	1 開 会 午後 1 時 30 分 2 議 題 内 容 別添のとおり 議案第 28 号 彦根市教育委員会指定管理者候補者選定委員会委員の委嘱について (教育総務課) 議案第 29 号 令和 7 年度彦根市コミュニティ・スクール(学校運営協議会)推進事業の学校運 営協議会委員の任命に係る臨時代理の承認について (生涯学習課) 議案第 30 号 彦根城博物館協議会委員の任命について (彦根城博物館) 議案第 31 号 彦根市図書館協議会委員の任命について (図書館) 3 その他 内 容 別添のとおり 4 閉 会 午後 2 時 20 分			

1 開 会

教育長 開会の前に、事務局より報告がありますので、教育部長から報告をお願いします。

教育部長から「西嶋教育長の全国都市教育長協議会永年勤続者表彰の受賞について」報告がありました。

ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は4件です。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」のあと、1件の報告事項を説明させていただきます。その後、議案第28号から議案第31号までの審議をいただきます。その後、「次第5 各所属の取組事項について」の質疑を行い、「次第6 その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、私から「教育長報告」をさせていただきます。

5月28日水曜日、令和7年度彦根愛犬租税教育推進協議会定期総会が、彦根税務署で開催されましたので、出席をしました。午後から、第1回滋賀県第4地区令和8年度使用教科用図書採択協議会が、本庁で開催されましたので、出席をしました。

5月30日金曜日、第1回彦根市いじめ問題対策連絡協議会を本庁で開催し、出席しました。

6月2日月曜日、6月の定例校長会議をWeb会議形式にて本庁で開催し、出席をしました。

6月3日火曜日、第1回社会教育委員の会議が、本庁で開催されましたので、出席をして挨拶をしました。

6月9日月曜日、6月市議会が開会となりましたので、出席をしました。

6月14日土曜日、令和7年度東雲会総会・研修会が米原市役所で開催されましたので、参加をしました。

6月16日月曜日、市議会個人質問が、6月18日水曜日にかけて行われましたので、出席をして答弁をしました。

6月19日木曜日、国スポ・障スポ都道府県応援団の応援練習会が、城陽小学校で行われましたので、練習の様子を視察しました。

6月20日金曜日、予算常任委員会が開催されましたので、出席をしました。

6月25日水曜日、福祉病院教育常任委員会の開催日でしたが、付託案件等はなく、開催はありませんでした。

6月26日木曜日、教育委員会学校訪問を午前中に城陽小学校と城南小学校で行いました。

午後から、6月の教育委員会会議、教育委員市長面談となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

2 前回会議録の承認

3 報告事項

教育長 次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「令和7年6月市議会定例会について」報告をお願いします。

教育部次長から報告がありました。

小松委員 議員に対することなので、わからなければ結構ですが、フリースクール等民間施設に対する公的支援の質問が、2人の議員から出ています。本市にはオアシスがありますが、これは教育委員会がかなり前に不登校対策を考えて作った組織です。議員からこのオアシスの内容、体制の強化、オアシスに対する予算の拡大とか、そういう質問は過去にあったのでしょうか。今、フリースクールということがものすごく出てきていますが、市の機関としてオアシスがそれに代わるものとして以前からあるわけで、そちらの強化というのは全然論じられていないと思います。そのところの議員の認識がどういう認識なのか、直接議員と話をする機会があれば聞きたいと思っています。過去にオアシスを話題にするような質問や議論があったのでしょうか。このフリースクールとオアシスの役割、連携とかは今後大事になってくると思います。単にフリースクールへの公的支援ばかりに力を入れるのではなく、議員が内容を理解して、論議して欲しいです。わかれば教えて欲しいのですが、過去のやりとりがわからなければ結構です。

教育研究所長 今回の職になる前のことは定かではありませんが、令和3年度、4年度あたりに、オアシスの運営に関わって質問を何名かの議員から受けたことがあります。ちょうど平成の終わり頃に、彦根市の財政が非常に厳しくなった時がありまして、大幅に予算を削減しなさいという状況になり、それまで1週間開設してきたオアシスについて、月曜日を閉室にして、

人件費を節約して対応するというのが令和の最初にかけてありました。それが、令和3年、4年あたりにフリースクールが出てきたことを受けてかもしれませんが、不登校が増加している折にどうして月曜日を閉室にしているのかという、議論があったように記憶をしています。その結果、現在オアシスは月曜日から金曜日まで1週間毎日開室をしています。それに向けて人件費とか施設の充実等をアップするというような前向きな発言というのはなくて、現状の中で対応するというものになっています。今も指導員は相変わらず週4日勤務です。5日間開室をしています。勤務は4日勤務で、週に1回はどこか休みをとるという中で、限られた人数で運営をしなければならないという状況は、令和の最初から変わってはいません。フリースクールが話題となる機会が多くなりましたが、一方で、公的な支援教室に向けてのさらなる充実という意見等は、こういう状況なのでやむを得ないのかもしれませんが、質問としてはないのが現状です。

教育部長 過去の議事録を見ると、予算委員会でオアシスの令和7年度予算について質問している議員がおられますし、令和6年度の議会において、オアシスを含めた不登校対策について、何人かの議員から質問があります。

小松委員 ということは、議員の中でもオアシスの存在、役割というのは、知っているということだと思います。ただ、今後、不登校児童生徒の構成が増えていく、あるいはそのフリースクールに通う児童生徒の保護者に対する支援が増えていく中で、彦根市が持っているオアシスとの費用のバランスも考えてもらって、将来的にはどうするのかというのがありますが、フリースクールばかりに目がいって、オアシスの存在が忘れられているのではないかという思いを持ったので、質問をしました。

本田委員 私も、今小松委員が話されたことと同じような気持ちを持っています。憲法第89条との関わり合いとかを言う割には、彦根市の不登校問題をどうするべきかという根本的な議論が全然されていないような気がしています。平沢先生が去年か一昨年に講演に来られて、不登校に対する話を聞いて、目の前にいる子どもを救おうということで、あの手この手でいろいろな方法で手を差し伸べたりするのもわかるのですが、最終的に社会と切り離したらダメということで、子どもにとっては学校が社会になりますが、もっとそういう議論をした上で、オアシスの拡充を最優先するべきだと思います。いろいろな支援の問題が次に出てくるとしたら、その活動内容のあり方とかルールとか、そういうことをもっと議論しないといけないと思います。一部の方の話や広報だけで、このように言っているような気がしてなりません。

意見です。

4 議題

議案第 28 号 彦根市教育委員会指定管理者候補者選定委員会委員の委嘱について

教育総務課長から説明がありました。

議案第 28 号は原案のとおり承認されました。

議案第 29 号 令和 7 年度彦根市コミュニティ・スクール(学校運営協議会)推進事業の学校運営協議会委員の任命に係る臨時代理の承認について

生涯学習課主幹から説明がありました。

永瀆職務代理者 資料の 52 ページですが、令和 8 年(2025 年)となっていますが、これは 2026 年ではないでしょうか。

教育長 52 ページですが、令和 8 年(2026 年)に訂正をお願いします。

議案第 29 号は原案のとおり承認されました。

議案第 30 号 彦根城博物館協議会委員の任命について

彦根城博物館管理課長から説明がありました。

小松委員 この博物館協議会は、定例的に年何回開催されていますか。今の彦根城博物館について協議するということですが、どういう議題がこの協議会の中で検討されるのでしょうか。

彦根城博物館管理課長 年に 2 回開催ということで、この議案が通りましたら、新しい委員に日程調整をして、夏場に 1 度開催する予定です。内容については、博物館全体の運営、企画展、今後の運営についてなど、中身のところを話してもらうものになります。

彦根城博物館学芸史料課主幹 協議会の内容については、先ほどの説明のとおり年 2 回ということで、基本、今後の博物館の 1 年間のあり方、予定を話しまして、それでもう 1 回は、その振り返りも含めて、報告ということで話をしています。議題については、その時に重要な案件があったら、それに時間を割いて話をするというところですが、基本的には全体の運営に関して意見をもらって、それを反映させるということをしています。

議案第 30 号は原案のとおり承認されました。

議案第 31 号 彦根市図書館協議会委員の任命について

図書館長から説明がありました。

議案第 31 号は原案のとおり承認されました。

5 各所属の取組事項について

小松委員 学校教育課の(4)学ぶ力向上に関する取組の中で、大きく3つ説明されていますが、2つ目の市教育委員会指導主事による学ぶ力向上にかかる伴走訪問と、3つ目の県教育委員会ならびに市教育委員会による学校訪問、授業研究会での指導助言というのは、具体的にどういうやり方をしているのでしょうか。それぞれの学校の先生を集めて行っているのか、何か現場の中で、その授業の様子を見ながら行っているのか、そのやり方について教えて欲しいです。

学校教育課長 資料の 71 ページになりますが、令和 7 年度学ぶ力向上学校訪問、訪問日一覧があります。県下すべての学校において、学ぶ力向上推進プランを毎年立てています。具体的な目標や計画に基づいた取組がどのようにされているか、その進捗状況を確認することを、毎年、県教育委員会と市教育委員会が、訪問して授業を見ていました。それから、先生すべてがいる中での授業研究会の様子を踏まえて、最後に市教育委員会ならびに県教育委員会から指導する、というプランに取り組んできました。県教育委員会が、より実効性を高めていくための工夫をしなくてはならないと考えまして、市町教育委員会と交流する中で県全体の県の学ぶ力向上訪問は3年に1回にする、と今年変更になりました。実際は3分の1以上になるのですが、特別な指定を受けている学校に訪問するという形です。

しかし、残りの3分の2の学校について、どう進めていくかということについては、市教育委員会に委ねるという形になりました。そこで、昨年度から計画をしていく中で、学校が主体的に取り組むということを大事にしていきたいということで、これまでは、学ぶ力推進リーダーを中心に、本市は集合型やオンラインによる研修プランの提示なり、進捗状況管理をしてきましたが、それだけでは不十分さを感じていましたので、今年度から市教育委員会の学ぶ力向上担当の指導主事が学校に行って、その学ぶ力推進リーダーと懇談をし、現在の進捗状況を確認して、困っていることや情報提供をして欲しいことを具体的に話していく中で、他校ではこういう実践があるとか、他市町ではこういう実践をしているからどうだろうとか、提案を絞って取り組むというのを、まず年度の前半に1回して、そして年度の後半にもう一

度具体的な支援をしていくこと、これに伴走訪問という名前をつけています。これまでは、何々しましょうとか、取り組むといいですよと指導する場面が多かったわけですが、より浸透を図っていくため3年間取り組もうと思っています。第4期の学ぶ力向上推進プランの初年度になりますので、浸透を図るということを今年が目玉にして取り組んでいきたいと思っています。

小松委員 今日学校訪問をした中で、生徒主体の学び方が、すごく現場で変わったという感じを受けました。1点聞きたいのは、4年間で学ぶ力を上げていく中で、どういう方向で、何をやるかという目標の設定、何か指標になるものは、彦根市の共通したものを作られているのでしょうか。進捗状況がどうかという説明がありましたが、そういう進捗がわかる資料は、各学校が作るのか、それとも彦根市として何か共通した様式があるのでしょうか。

学校教育課長 第4期学ぶ力向上推進プランを昨年度に定めて、今年度から5年で取り組んでいくという形になっています。第1段階として、進めていくポイントを3つの視点から定めていて、授業づくり、学年・学級集団づくり、学校づくり、というこの視点は、県と共通しています。進捗については、子どもの発達段階や学校の状況によって、多少の特色は出てくるだろうと思います。しかし、今年度はまず目指す方向性がぶれないように、みんなで確認していくということを第1段階として取り組もうということになっています。大きな目指す方向性を示して、現場の声を聞きながら整えていきたいと思いますという形でスタートを切りました。

小松委員 そういう成果を見る指標として、全国学力調査の結果は意識しているのでしょうか。

学校教育課長 プランを作っていく段階で、全国学力状況調査の調査項目は、策定メンバーみんな確認しています。例えば、ICT 機器を活用する段階ではなく、活用して学び合いを進めていく協働的な学びを進めるとか、そういったことは国の指標で示されていますので、それを確認するのは、当然しているところです。調査は、それぞれの小学校、中学校の最終学年でその調査が行われますが、最終学年や最終学年の前年に取り組むのではなく、全学年で取り組んでいこうとしています。

6 その他

各委員 なし。

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

7月の会議は、7月24日木曜日、午後1時30分から本庁舎5階5-1、5-2会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。